

中津川市の教育方針 よりよいひとりだち

校内の実態

- 落ち着いた学校生活
- 自治的活動の充実
- 教育相談体制の充実
- 職員の親和性協働性
- △学力の伸び悩み
- △不登校生徒高止まり
- △職員の経験の浅さ
- △施設の老朽化

めざす校風

“自分から、自分たちから”
「なりたい自分」「なりたい自分たち」に出会う学校

- ★学校が楽しい: 90%↑
- ★安心できる学校: 90%↑
- ★長欠出現率8%↓
- ★不登校出現率5%↓
- ★全欠生徒の減少

学校の教育目標

よくみ よく聞き よく考えて 仲間と共に ねばり強くやりぬく生徒

地域の実態

- 協力的な保護者
- ICTによる簡素化
- 学校運営協議会の充実と行動力
- 地域行事への参加と学校支援の増加
- △中学生を地域力として活用する仕組み

めざす生徒像

希望の進路を実現するための
学力を身に付けた生徒

誰とも折り合いをつけながら
よりよい学校を創造する生徒

なりたい自分に向けて諦めず
地道に努力を続ける生徒

学力UP

★自己効力感
できると感じるものがある 90%↑

確かな学力を育む
授業改善

- ①生徒が主体となって
ねばり強く学ぶ授業の創造
 - ・自己調整学習の充実
 - ・図書館を利用した学び創出
 - ・深め合う場面の設定
- ★自ら学習している 90%↑
- ★わかりやすい授業 90%↑
- ②ICTを駆使して自分に適した学びを進める力の育成
 - ・情報活用能力の育成
 - ・情報モラル教育の推進
- ★学校情報化優良校の継続
- ★タブレットの有効性 90%↑
- ③授業と日常生活をつなげる
自己決定型家庭学習の創造
 - ・ハイブリッド型家庭学習
 - ・eライブラリ, えがおノートの活用
- ★家庭学習が身に付いている 80%↑
- ★実力テスト平均 250点↑

社会力UP

★自己有用感
自分は必要とされている 90%↑

社会を生きる人間性を育む
特別活動

- ①生徒会を主体とした
自治的活動の創造
 - ・二中人権宣言の活用と多様性理解の涵養
 - ・生徒主体の活動展開
 - ・校則改定への道筋づくり
- ★二中人権宣言達成度 90%↑
- ★校則改定の仕組みの完成
- ②居場所と出場所のある
学年・学級経営
 - ・思いを語る学級活動の創造
 - ・相互に認め合う活動の充実
- ★仲間と協力して活動 90%↑
- ③学校運営協議会と連携した
ボランティア活動の励行
 - ・生徒会発信による地域貢献意識の啓発
 - ・地域防災を担う意識の高揚
- ★ボランティア活動参加 60%↑

自己実現力UP

★自己肯定感
自分にはよいところがある 90%↑

自己指導能力を育む
校内指導体制

- ①生徒理解をもとにした
生徒指導・教育相談体制
 - ・全職員共通指導体制の構築
 - ・SC 生安等外部との連携強化
 - ・校内教育支援センターの充実
- ★熱心な指導 90%↑
- ②自己のよさを理解した
キャリア教育の充実
 - ・「なりたい自分」づくり
 - ・計画的、継続的な進路指導
 - ・宿泊研修、体験活動の充実
- ★なりたい自分がある 90%↑
- ★ねばり強く努力 90%↑
- ③未来を生きる心身づくり
のための健康教育の充実
 - ・心に刻むいのちの教育の実施
 - ・運動に親しむ機会の確保
- ★健康を意識した生活 90%↑
- ★シャトルラン 全国平均↑

学校経営の土台「職員一人一人の持ち味を活かす」...そのために...

指導の方向性をそろえる

- ・期のねらいを理解する部長会
- ・共通行動を図る職員＆学年会
- ・全員で当たる「チーム二中」

組織で動く

- ・企画＆主任＆教相会の連携
- ・迅速な事案の集約と共有化
- ・機動力のあるケース会議

やりがいを生む

- ・校務のDX化による働き方改革
- ・同僚性を高める相互職員理解
- ・OJTによる資質向上

CS

- ・地域学校協働活動へのつながり強化
- ・防災・福祉活動への協力

保護者

- ・積極的な行事参加
- ・ICTによる連携

5校

- ・入学前児童の理解促進
- ・5校での共通歩調

クラブ

- ・連携協力の強化